



令和6年7月9日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「第14回科学の甲子園全国大会」の開催について ～全国の高校生が学校対抗で科学の力を競う～

JST（理事長 橋本 和仁）は、科学好きの裾野を広げるとともに、次世代の科学技術・イノベーションの創出を担う優れた人材の育成を目的として、全国の高校生が学校対抗で科学の力を競う「第14回科学の甲子園全国大会」を、令和7年3月21日（金）から3月24日（月）まで、つくば国際会議場およびつくばカピオで開催します。

全国大会では、各都道府県より選出された代表校が、科学技術・数学・情報における複数分野にわたる「筆記競技」と「実技競技」に取り組み、総合点を競います。本大会は、茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、高等学校文化連盟全国自然科学専門部との共催で、文部科学省、公益社団法人日本理科教育振興協会、都道府県教育委員会などの協力を得て開催します。

また、本大会は産学官が一体となった新たな科学技術系人材育成モデルとして、協賛企業の積極的な関与を通じて、グローバル社会で主体的かつ創造的に問題を解決する人材の育成を推進します。

JSTでは、発達段階に応じ才能を伸ばせるよう体系的な人材育成に取り組んでいます。「科学の甲子園全国大会」をはじめとする事業の実施を通じて、科学好きの裾野を広げ、生徒が才能を十分に発揮し、切磋琢磨する機会を提供していきます。

大会の概要や出場校選考などの詳細は、別紙または下記URLを参照してください。

日 程：令和7年3月21日（金）～24日（月）
場 所：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2丁目20番3号）
つくばカピオ（茨城県つくば市竹園1丁目10番地1）
URL：<https://koushien.jst.go.jp/koushien/>

<添付資料>

別 紙：「第14回科学の甲子園全国大会」開催概要

参考1：「第14回科学の甲子園全国大会」協働パートナー一覧

参考2：「第14回科学の甲子園全国大会」都道府県大会開催日程一覧

＜科学を支え、未来へつなぐ＞

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

「第14回科学の甲子園全国大会」開催概要

1. 目的

第14回科学の甲子園全国大会（以下、「全国大会」という。）は、国立、公立、私立の高等学校、中等教育学校後期課程および高等専門学校（以下、「高等学校等」という。）の生徒らを対象とした科学技術・数学・情報などにおける複数分野の競技を開催することにより、全国の科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的とします。

2. 全国大会の実施・協力体制

- (1) 主催 科学技術振興機構（JST）
- (2) 共催 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、
高等学校文化連盟全国自然科学専門部（予定）
- (3) 後援 文部科学省（予定）、公益社団法人日本理科教育振興協会
- (4) 都道府県教育委員会および協働パートナーの協力を得て開催

3. 開催日程

- (1) 令和7年3月21日（金）～24日（月）
- (2) 大会の日程は以下の通り
3月21日（金） 開会式、オリエンテーション、筆記競技
3月22日（土） 実技競技
3月23日（日） エクスカーション、表彰式、協働パートナーなどによる
ブース展示、フェアウェルパーティー
3月24日（月） 解散

4. 場所

つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2丁目20番3号）
つくばカピオ（茨城県つくば市竹園1丁目10番地1）

5. 出場チーム

- (1) 各都道府県教育委員会は当該都道府県内の全ての高等学校等を対象とした全国大会の代表を選考するための都道府県大会を行います。その実施方法は当該都道府県教育委員会の定めによります。
- (2) 全国大会出場チームは、1都道府県1チームとします。
- (3) 全国大会出場チームは1校単位で編成します。
- (4) 出場チームは高校1、2学年の生徒（中等教育学校後期課程および高等専門学校にあっては同年次の生徒または学生）で構成します。
- (5) 出場チームの員数は6人以上8人以内とします。

6. 競技の種類

全国大会では筆記競技と実技競技を行います。

(1) 筆記競技

筆記競技は、理科、数学、情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で、教科・科目の枠を超えた融合的な問題も出題されることがあります。

(2) 実技競技

実技競技は理科、数学、情報に関わる実験、実習、考察など、科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力やコミュニケーション能力などにより課題を解決する力を競います。

7. 競技の形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、当該競技チームが問題などを分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競います。競技数、競技者数、配点比率および競技時間は以下の通りです。

種目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
筆記競技	1 競技	6 人 / 1 競技	筆記競技と実技競技の配点比率は 1 : 2 とします	120 分程度
実技競技	3 競技	3 ~ 4 人 / 1 競技		競技毎に決定

8. 表彰など

- (1) 主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定します。
- (2) 優勝チームには、文部科学大臣賞を授与するとともに、米国で開催されるサイエンスオリンピックへの派遣を行います。
- (3) 主催者は協賛企業などを広く募り、その他の表彰を行います。
- (4) 大会成績上位の出場チームを公表します。全出場チームの成績は当該出場チーム、および当該教育委員会に提供します。

以上

「第 14 回科学の甲子園全国大会」協働パートナー一覧

(50音順・予定含む)

No.	協賛企業・団体
1	旭化成株式会社
2	ETS Japan
3	株式会社内田洋行
4	株式会社学研ホールディングス
5	ケニス株式会社
6	株式会社ジー・サーチ
7	株式会社島津製作所／株式会社島津理化
8	スカパーJ S A T株式会社
9	スリーエムジャパン株式会社
10	帝人株式会社
11	テクノプロ・グループ
12	東京エレクトロン株式会社
13	トヨタ自動車株式会社
14	株式会社ナリカ
15	公益財団法人日本科学協会
16	公益社団法人日本理科教育振興協会
17	UBE三菱セメント株式会社
18	株式会社リソー教育

No.	応援企業・団体
1	サントリーホールディングス株式会社
2	スクールサポート株式会社
3	公益財団法人日本発明振興協会